平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場会社名　シミック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2309　URL　http://www.cmic.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役会長兼社長CEO　（氏名）中村　和男
問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員(情報開示担当)　（氏名）望月　渉　TEL 03-5745-7070
四半期報告書提出予定日　平成23年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	10,836	46.1	1,512	100.5	1,447	91.1	721	84.1
22年9月期第1四半期	7,418	7.5	754	26.5	757	54.4	391	98.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	820.82	―
22年9月期第1四半期	445.78	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	34,915	16,036	43.9	17,432.66
22年9月期	33,266	15,639	44.9	16,978.15

（参考）自己資本　23年9月期第1四半期　15,322百万円　22年9月期　14,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	―	190.00	―	340.00	530.00
23年9月期	―				
23年9月期（予想）		265.00	―	265.00	530.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	24.8	1,350	△34.4	1,350	△36.7	600	△44.7	682.64
通期	41,200	14.9	3,550	7.2	3,450	7.3	1,800	0.8	2,047.93

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年9月期1Q	894,957株	22年9月期	894,957株
② 期末自己株式数	23年9月期1Q	16,021株	22年9月期	16,022株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年9月期1Q	878,936株	22年9月期1Q	878,944株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．その他の情報 …… 5
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 5
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 5
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 13
（１）受注及び販売の状況 …… 13

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界においては、国の医療費抑制策や、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループの属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界においては、顧客の業務スピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、緩やかながら市場規模が拡大傾向にあります。

このような環境において、当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC（Pharmaceutical Value Creator）を展開し、CRO（医薬品開発支援）事業、CMO（医薬品製造支援）事業、CSO（医薬品営業支援）事業、ヘルスケア事業、IPD（知的財産開発）事業において、医薬品の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。

当第１四半期連結累計期間においては、CRO事業の国内における基盤の強化を図るとともに、アセアンオフィスをバンコクに開設するなど、アジア展開を推進するための体制整備を行いました。CRO事業においては国内外の顧客から受託した案件が好調に推移し、CMO事業においては平成22年４月より営業を開始したシミックCMO株式会社が業績に寄与するなど、グループ事業の規模は大きく拡大しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高10,836百万円（前年同期比3,417百万円増、46.1％増）、営業利益1,512百万円（前年同期比758百万円増、100.5％増）、経常利益1,447百万円（前年同期比689百万円増、91.1％増）、四半期純利益721百万円（前年同期比329百万円増、84.1％増）と、前年同期に対し増収増益となりました。

セグメント別の業績の状況は以下のとおりです。なお、セグメント別の業績の前年同期比増減及び率につきましては、新報告セグメントベースに組み替えて比較しております。

CRO事業

売上高	4,057百万円	（前年同期比　19.4％増）
営業利益	796百万円	（前年同期比　76.7％増）

当事業においては、製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、モニタリング業務が追加受注や稼働率の向上により好調に推移し、データマネジメント業務も前年同期に対し大幅に伸長しました。海外子会社においても、アジア共同治験等の受託により業績を伸ばしました。

この結果、CRO事業の売上高は4,057百万円（前年同期比659百万円増、19.4％増）、営業利益は796百万円（前年同期比345百万円増、76.7％増）となりました。

CMO事業

売上高	3,608百万円	（前年同期比　160.1％増）
営業利益	642百万円	（前年同期比　1,075.2％増）

当事業においては、製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援及び分析化学サービスに係る業務を行っております。

当第１四半期連結累計期間においては、平成22年４月より連結子会社となったシミックCMO株式会社の業績が加わったこと、シミックCMO富山株式会社において新規受託案件が寄与したことにより好調に推移しました。

この結果、CMO事業の売上高は3,608百万円（前年同期比2,221百万円増、160.1％増）、営業利益は642百万円（前年同期比587百万円増、1,075.2％増）と、大幅な増加となりました。

CSO事業

売上高　　1,090百万円（前年同期比　　40.8％増）
営業損失　　28百万円（前年同期　　営業利益49百万円）

当事業においては、製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。
当第１四半期連結累計期間においては、エムディエス株式会社によるメディカルコミュニケーション業務（販促資材企画・制作等）及び株式会社シミックエムピーエスエスによるMR（医薬情報担当者）派遣業務等がともに好調に推移し増収となりましたが、MR派遣業務の一部の案件で顧客都合によるプロジェクト開始の遅れにより、費用が先行したことから営業損失が生じております。
この結果、CSO事業の売上高は1,090百万円（前年同期比316百万円増、40.8％増）、営業損失は28百万円（前年同期：営業利益、49百万円）となりました。

ヘルスケア事業

売上高　　2,281百万円（前年同期比　　16.9％増）
営業利益　　198百万円（前年同期比　　27.3％減）

当事業においては、SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。
当第１四半期連結累計期間においては、主力のSMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社がプロジェクトの早期達成等により引き続き好調に推移しましたが、シミック株式会社で受託している一部の臨床研究プロジェクトにおいて営業損失が生じております。
この結果、ヘルスケア事業の売上高は2,281百万円（前年同期比330百万円増、16.9％増）、営業利益は198百万円（前年同期比74百万円減、27.3％減）となりました。

IPD事業

売上高　　７百万円（前年同期比　　319.4％増）
営業損失　　97百万円（前年同期　営業損失78百万円）

当事業においては、診断薬や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）などの開発及び販売に係る業務を行っております。
当社が腎疾患の診断を目的として開発し製造販売承認を取得した体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット（販売名：レナプロ®L-FABPテスト）」につきましては、株式会社テイエフビー（富士レビオ株式会社の100％子会社）と国内における独占販売契約を締結しております。
また、希少疾病用医薬品については、現在、急性ポルフィリン症治療薬「ヒトヘミン」、尿素サイクル異常症治療薬「フェニル酪酸ナトリウム」、遺伝性血管性浮腫治療薬「エカランタイド」の３剤の開発を進めております。なお、「ヒトヘミン」「フェニル酪酸ナトリウム」は厚生労働省に設置された未承認薬使用問題検討会議で、医療上必要性が高いと判断される未承認薬として指定されております。
当第１四半期連結累計期間のIPD事業の売上高は７百万円（前年同期比５百万円増、319.4％増）、営業損失は97百万円（前年同期：営業損失78百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で1,649百万円増加し、34,915百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で1,252百万円増加し、18,879百万円となりました。これは、主に賞与引当金及び未払法人税等の減少と、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で397百万円増加し、16,036百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,255百万円増加し、6,738百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、428百万円の収入（前年同期：753百万円の支出）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の増加による収入及び法人税等の支払による支出があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、585百万円の支出（前年同期：480百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,426百万円の収入（前年同期：445百万円の収入）となりました。これは、主に短期借入金及び長期借入金の増加による収入があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期（３ヶ月）の業績につきましては、シミックCMO株式会社において定期点検によるシャットダウンを予定しているため、第１四半期に比べて売上高及び利益が減少する見通しとなっており、第２四半期（累計）の業績は、概ね計画通りに進行しております。従って、平成23年９月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月９日に平成22年９月期決算短信にて発表いたしました予想数値を変更いたしません。

なお、上記の連結業績予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

【簡便な会計処理】

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
１．固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
２．一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第１四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
３．棚卸資産の評価方法	当第１四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。
４．法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	当第１四半期連結会計期間末における繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
１．連結の範囲に関する事項の変更	（１）連結の範囲の変更 当第１四半期連結会計期間において、連結子会社であるCMIC BRASIL PESQUISAS CLINICAS LTDA.の全株式を売却したため、当第１四半期連結会計期間の期首に同社を連結の範囲から除外しております。 （２）変更後の連結子会社の数 13社
２．会計処理基準に関する事項の変更	（１）資産除去債務に関する会計基準の適用 当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。 これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ10,480千円減少し、税金等調整前四半期純利益は178,814千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は328,978千円であります。 （２）「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 当第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号　平成20年３月10日）を適用しております。 これによる損益への影響はありません。

【表示方法の変更】

当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
（四半期連結貸借対照表） 前第１四半期連結会計期間において、有形固定資産の「その他（純額）」に含めて表示しておりました「土地」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第１四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。 なお、前第１四半期連結会計期間における有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる「土地」は1,721,599千円であります。
（四半期連結損益計算書） 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第１四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,350,224	6,096,196
受取手形及び売掛金	7,970,046	8,075,470
商品及び製品	189,636	17,798
仕掛品	2,727,892	2,590,491
原材料及び貯蔵品	384,130	349,286
その他	1,663,631	1,804,796
貸倒引当金	△3,227	△3,321
流動資産合計	20,282,334	18,930,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,053,841	4,014,227
土地	4,361,746	4,364,766
その他（純額）	2,284,583	2,295,010
有形固定資産合計	10,700,171	10,674,003
無形固定資産		
のれん	539,867	566,236
その他	785,900	757,666
無形固定資産合計	1,325,768	1,323,902
投資その他の資産		
投資有価証券	281,724	308,985
敷金及び保証金	1,245,745	1,233,412
その他	1,103,821	820,971
貸倒引当金	△23,725	△25,336
投資その他の資産合計	2,607,565	2,338,033
固定資産合計	14,633,504	14,335,940
資産合計	34,915,838	33,266,659
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,234,838	1,416,444
短期借入金	2,741,600	2,032,600
未払法人税等	731,582	1,130,507
賞与引当金	498,883	1,507,242
その他の引当金	209,793	321,622
その他	3,708,852	3,029,266
流動負債合計	9,125,550	9,437,682
固定負債		
長期借入金	7,253,100	6,208,700
退職給付引当金	1,695,218	1,561,510
その他	805,719	419,525
固定負債合計	9,754,038	8,189,735
負債合計	18,879,588	17,627,418

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087,750	3,087,750
資本剰余金	5,960,881	5,960,881
利益剰余金	6,977,535	6,554,927
自己株式	△416,484	△416,516
株主資本合計	15,609,682	15,187,041
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△287,488	△264,353
評価・換算差額等合計	△287,488	△264,353
少数株主持分	714,056	716,552
純資産合計	16,036,250	15,639,241
負債純資産合計	34,915,838	33,266,659

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	7,418,443	10,836,409
売上原価	5,252,043	7,827,584
売上総利益	2,166,400	3,008,825
販売費及び一般管理費	1,411,914	1,496,324
営業利益	754,485	1,512,500
営業外収益		
受取利息	1,578	1,697
受取賃貸料	4,950	6,921
為替差益	28,520	－
持分法による投資利益	470	－
受取管理料	－	12,954
その他	2,969	9,805
営業外収益合計	38,490	31,378
営業外費用		
支払利息	9,608	39,805
為替差損	－	25,966
出資金等持分損失負担額	22,088	21,238
持分法による投資損失	－	2,209
その他	3,782	7,206
営業外費用合計	35,478	96,426
経常利益	757,497	1,447,452
特別利益		
固定資産売却益	－	2,912
関係会社株式売却益	－	3,441
貸倒引当金戻入額	－	1,030
特別利益合計	－	7,384
特別損失		
固定資産除却損	3,413	718
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	168,334
特別損失合計	3,413	169,052
税金等調整前四半期純利益	754,084	1,285,783
法人税、住民税及び事業税	172,013	468,616
法人税等調整額	169,589	86,816
法人税等合計	341,603	555,433
少数株主損益調整前四半期純利益	－	730,350
少数株主利益	20,662	8,902
四半期純利益	391,817	721,447

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	754,084	1,285,783
減価償却費	181,358	686,898
のれん償却額	25,797	25,416
受取利息及び受取配当金	△1,578	△1,697
支払利息	9,608	39,805
出資金等持分損失負担額	22,088	21,238
固定資産除却損	3,413	718
固定資産売却損益（△は益）	－	△2,912
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△3,441
売上債権の増減額（△は増加）	△496,522	99,896
たな卸資産の増減額（△は増加）	△215,347	△346,246
仕入債務の増減額（△は減少）	99,864	△188,501
その他	△203,005	△129,010
小計	179,759	1,487,948
利息及び配当金の受取額	1,578	1,434
利息の支払額	△9,098	△38,424
損害賠償金の支払額	－	△85,923
法人税等の支払額	△925,657	△936,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	△753,417	428,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△176,320	△174,900
定期預金の払戻による収入	－	174,900
有形固定資産の取得による支出	△230,579	△405,674
有形固定資産の売却による収入	－	16,281
無形固定資産の取得による支出	△58,711	△108,933
投資有価証券の取得による支出	△22,882	－
その他	7,665	△86,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△480,828	△585,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	751,000	600,000
長期借入れによる収入	－	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△146,600	△146,600
リース債務の返済による支出	△20,889	△28,166
配当金の支払額	△128,080	△288,782
少数株主への配当金の支払額	△10,379	△10,379
自己株式の処分による収入	－	128
自己株式の取得による支出	－	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	445,050	1,426,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,420	△14,035
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△780,774	1,255,148
現金及び現金同等物の期首残高	5,512,948	5,482,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,732,173	6,738,008

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社グループ独自の事業モデルであるPVC（Pharmaceutical Value Creator）のもと、グループ横断の事業カンパニーであるCROカンパニー、CMOカンパニー、CSOカンパニー、ヘルスケアカンパニーを設置するとともに、診断薬やオーファンドラッグなどの開発を行う事業部門を設置し、当社グループが取り扱うサービス・製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。

当社グループは、当該事業カンパニーを基礎として、経済的特徴が概ね類似している事業セグメントを集約したCRO事業、CMO事業、CSO事業、ヘルスケア事業、IPD事業の５つを報告セグメントとしております。

いずれの報告セグメントも、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

各報告セグメントに属する当社及び当社の関係会社は、以下のとおりです。

報告セグメント	主な業務	当社及び当社の関係会社
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援に係る業務	（国内）シミック㈱ （海外）CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. 希米科医薬技術発展（北京）有限公司
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援及び分析化学サービスに係る業務	（国内）シミック㈱ シミックCMO㈱ シミックCMO富山㈱ ㈱応用医学研究所 （海外）CMIC CMO USA Corporation CMIC CMO Korea Co.,Ltd.
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	（国内）㈱シミックエムピーエスエス エムディエス㈱
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	（国内）シミック㈱ サイトサポート・インスティテュート㈱ ㈱ヘルスクリック ㈱シミックBS 富士フイルム・シミック　ヘルスケア㈱
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発及び販売に係る業務	（国内）シミック㈱

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,982,896	3,600,973	1,008,620	2,236,474	7,444	10,836,409	－	10,836,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,804	7,289	81,895	44,974	－	208,962	△208,962	－
計	4,057,701	3,608,263	1,090,515	2,281,448	7,444	11,045,372	△208,962	10,836,409
セグメント利益	796,706	642,483	△28,397	198,879	△97,258	1,512,413	86	1,512,500

（注）１．セグメント利益の調整額86千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日公表分）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（参考）

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,376,331	1,373,873	748,101	1,918,361	1,774	7,418,443	－	7,418,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,142	13,215	26,292	32,950	－	94,599	△94,599	－
計	3,398,473	1,387,088	774,393	1,951,312	1,774	7,513,043	△94,599	7,418,443
セグメント利益	450,943	54,668	49,546	273,632	△78,742	750,048	4,437	754,485

（注）１．セグメント利益の調整額4,437千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．前第１四半期連結累計期間の金額は、新報告セグメントベースに組み替えて表示しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

当第１四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
（株式会社応用医学研究所との株式交換） 当社と当社の連結子会社である株式会社応用医学研究所（以下「応用医学研究所」といいます。）は、平成22年11月９日開催の各社の取締役会において、当社を完全親会社、応用医学研究所を完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を実施することを決議し、株式交換契約（以下「本株式交換契約」といいます。）を締結しました。 本株式交換は、平成22年12月10日に開催された応用医学研究所の定時株主総会において承認を受け、平成23年２月１日に効力を生じております。これにより当社は応用医学研究所の全株式を取得し、同日、同社の完全子会社化が完了しました。

４．補足情報

（１）受注及び販売の状況

①受注実績

報告セグメント	前第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）		当第１四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）		前連結会計年度（自　平成21年10月１日　至　平成22年９月30日）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業（百万円）	5,634	19,113	4,077	18,111	16,247	18,016
CMO事業（百万円）	1,119	1,813	2,596	2,641	10,839	3,645
CSO事業（百万円）	632	966	520	2,012	4,740	2,500
ヘルスケア事業（百万円）	2,614	9,146	2,478	9,529	8,999	9,287
IPD事業（百万円）	1	9	7	－	17	－
合計	10,001	31,048	9,681	32,294	40,845	33,449

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。
３．CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。
４．前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度の金額は、新報告セグメントベースに組み替えて表示しております。

②販売実績

報告セグメント	前第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）	当第１四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）	前連結会計年度（自　平成21年10月１日　至　平成22年９月30日）
CRO事業（百万円）	3,376	3,982	15,086
CMO事業（百万円）	1,373	3,600	9,262
CSO事業（百万円）	748	1,008	3,322
ヘルスケア事業（百万円）	1,918	2,236	8,171
IPD事業（百万円）	1	7	17
合計	7,418	10,836	35,861

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．セグメント間の取引については相殺消去しております。
３．前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度の金額は、新報告セグメントベースに組み替えて表示しております。